

# SQUARE



習志野市国際交流協会会報

スクウェア 第120号

2018(平成30)年1月1日

詳しい記事がNIAホームページからご覧になれます

発行 習志野市国際交流協会

千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード津田沼6F TEL 275-0016

Tel&Fax 047-452-2650

<http://www.nia08.com/>

nia@jcom.zaq.ne.jp

2018  
募集!

## 夏休みアメリカ派遣高校生募集!



2016年アメリカ派遣

平成30(2018)年夏、市内在住高校生を、習志野市の姉妹都市アラバマ州タスカルーサ市へ派遣します。現地家庭にホームステイして、タスカルーサの高校生との交流をはじめ各地を訪問、アメリカの生活や文化・歴史に触れます。

●期間：平成30(2018)年7月19日(木)～8月1日(水)

●場所：アメリカ合衆国アラバマ州タスカルーサ市

●募集対象：①市内在住の高校生（市内の高校に通う生徒は別途各学校で募集）

※夏休み時点での高校生が対象です。現在の中学生もご応募ください！

②健康で外国での長期滞在に耐えられる人

③積極的な研修意欲のある人

④帰国後積極的に国際交流活動に参加できる人

⑤事前・事後の研修などに必ず出席できる人（事前宿泊研修あり）

●募集人数：4人

●選考：作文による一次審査通過者を対象に、面接による二次審査を実施

●費用：30万円以内（パスポート取得費用、小遣い等を除く）

●申し込み：平成30(2018)年1月15日(月)午後5時までに必要書類をNIA事務局へ持参

●必要書類：申込書、市青少年海外派遣事業自己申告書、作文（テーマ「タスカルーサ市への派遣に対する思い」。800字程度）

※用紙はNIA事務局で配布、またはホームページからダウンロード

お問い合わせはNIA事務局まで

NEXT  
2/18  
SUN

## 第55回 世界の料理教室 中國の家庭料理 開催決定!

毎回好評の料理教室。

今回は講師にワン・ヤードンさんを迎えて  
皮から作る餃子に挑戦です。

◆2018年2月18日(日)午前10時より

◆菊田公民館 調理室

◆参加費 会員600円 非会員700円

◆定員15名

◆会員1月22日(月)、非会員2月5日(月)から  
受付開始

◆先着順

お申込み・お問い合わせはNIA事務局へ



写真は前回のテキサス風メキシカン料理教室

# 協会設立30周年記念講演会が開催されました 『宇宙生命哲学』事始め 我々は何処から来たのか、今、何処にいるのかそして 地球環境核戦争が始まった

伊藤 俊洋氏（一般財団法人北里環境科学センター理事長）

2017年10月7日、千葉工業大学で  
行われた記念講演の要旨を紹介します。



記念講演は伊藤俊洋先生の「宇宙生命哲学事始め」子雲の入り口に辿り着いたばかりである。電子雲の中には将来の大きな可能性が残されている。文明の未来は、電子雲を自在にコントロールすることにより確実に進化できるのである。

かし72年前、人類は原子の中のもう1つの構成員でし  
ある原子核を壊すことによって膨大なエネルギーを取り出し、核兵器として使用した。その後、平和利用と称して原子力発電技術が開発された。その結果、大量の原子核が日常的に破壊され、放射性核分裂生成物が廃棄物として蓄積されている。この原発の廃棄物は、地球上の循環システムに組み入れることができず、科学技術の粋を集めても、地球上の総ての富を積み上げても、科学的に無害化することはできない。この現状を続けることは、地球上の総ての生物と原発先進国との間の全く新しいタイプの戦争、「地球環境核戦争」の戦場に、我々は自らの身をおいていふことを意味している。

々は原発問題から目をそらしてはならないし、先送  
我りしてはならない。原発問題が史上最悪の環境汚染であるという認識を共有することにより、人類は新しい概念のパラダイスをこの惑星の上に創ることができると信ずる。その目指すところが「宇宙生命哲学」の本旨である。

人類は今、文明の大きなうねりの前に立ちすくんでいます。地球規模の気象の異変、情報革命、格差社会、資源の枯渇、人種・人権問題、エスカレートするテロ、核兵器の拡散、蔓延するポピュリズム。しかし、本質的な問題はもっと深いところに潜む得体の知れない実体のように思える。そもそも人が生きて行くことの意味、人間社会で個人が果たす役割、未来の子供達に託す課題、人生を爽やかに生き抜く心得、これらの課題を総括的に議論し、解決策を紡ぎだすためには、文明の指針となる新しい哲学が必要である。

球上の総ての生命現象は、地球環境（大地、海洋、大  
地 気）に含まれる化学物質が織りなす循環の絵巻物である。近代原子論に基づいて考えると、38億年の生命史の中で起こった総ての生命現象は、化学反応、即ち原子中の電子雲（超高速で動く電子の軌道域）の変化として捉えられる。人間の精神活動も生命現象の1つであると考えるならば、政治、経済、文化、芸術、宗教活動も、化学反応としての電子雲の変化である。

生命現象は電子雲の世界で循環している。人類はまだ電



千葉工大大教室で講演に聞き入る参加者



講演後のパーティーで参加者に実験を披露

# 協会設立30周年記念事業が実施されました 実験やジャズ演奏で盛り上がったパーティー

浅井 勝則（事務局長）

2017（平成29）年10月7日に、習志野市国際交流協会設立30周年を記念して、千葉工業大学津田沼校舎において講演会とアニバーサリーパーティーが盛大に開催されました。この事業は、平成28年12月に第1回実行委員会が開かれ、以後7回の実行委員会で協議を重ねて計画され準備された事業です。

## 【記念講演会】

第1部は、同校舎2号館3階大教室を会場に午前10時から行われた記念講演会でした。北里環境科学センター理事長の伊藤俊洋氏を講師にお迎えし、「『宇宙生命哲学』事始め」という壮大なテーマの講演でした。伊藤先生の用意していただいた模型等を使いながらの、地球上の全ての生命に関わる新しい哲学への提言に、112名の参加者は熱心に耳を傾けていました。講演の最後には、伊藤先生の美声も披露していただき、会場全体が和やかな雰囲気に包まれた中でのお開きとなりました。

## 【アニバーサリーパーティー】

第2部は会場を同校舎1号館20階展望室に移してのアニバーサリーパーティーでした。ここでは短時間での会場移動と参加者100人の受付がスムースにいくか心配でしたが、協会員の皆さんのご協力により大幅に遅れるこなくパーティーを始めることができました。



20階の展望室でのパーティー。荒木前市長の音頭で全員で乾杯



料理も会話もエンジョイ

司会進行は日本を代表する水環境問題の専門家で国連テクニカルアドバイザーでもある吉村和就NIA副会長にお願いしました。崎山NIA会長、宮本習志野市長の心温まる挨拶のあと、来賓の紹介、タスカルーサ市からのALTの紹介、荒木前習志野市長の音頭による乾杯に引き続き歓談が始まりました。BGMには、市内外のライブハウスなどで活躍している「ジャズフレンズ」によるジャズ演奏が会場の雰囲気を盛り上げてくれました。

第1部講演会の講師である伊藤先生もパーティーに参加され、テーブルの空きスペースを利用して水の表面張力に関する実験をしていただきました。実験テーブルを囲んだ参加者は水に沈まない一円玉や金属片を注視していました。美味しい料理が並んでいる各テーブルでは参加者の和やかな歓談風景が見られました。

第2部は、実行委員の皆さまをはじめとする全ての協会員の皆さまのご支援の賜物と感謝申し上げます。また、学生の授業のある中で素晴らしい会場と美味しい料理を提供していただきました千葉工業大学の瀬戸熊理事長、小出学務部長をはじめとする職員の皆さまにも深く感謝申し上げます。



宮本市長、崎山NIA会長、荒木前市長(右から)



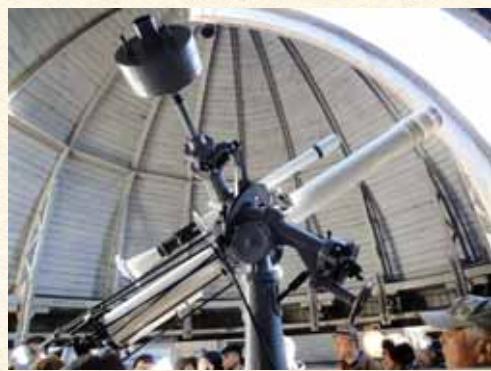
BGMで流れた「ジャズフレンズ」による演奏

# 文化交流部会のミニバスハイクが行われました 秋晴れの下、バラ、そば、ビールを楽しみました

杉本 裕子（広報青年部会）

11月25日は絶好の行楽日和、総勢39名は京成津田沼駅前を出発、車窓から雪化粧の富士山を見ながら一路目的地へ。今回は国立天文台、神代植物公園、深大寺、サントリー武蔵野ビール工場です。これらは初めての方も多く、向かうバスでは「とても楽しみ」の声も聞かれました。参加者は外国人も交えて多彩で、笑い声の絶えない賑やかなバスの旅となりました。

初は三鷹の国立天文台で、世界最先端の研究、観測最施設を持つ日本の天文学の中核施設です。今回の見学コースは大正期の面影を残す施設でした。



次は神代植物公園。都内唯一の植物公園で、バラ園にはまだきれいなバラが咲いていてラッキーでした。隣接する深大寺では「新そばまつり」が



催されていて、多くの人で賑わっていました。名物のお蕎麦はやはり評判通り美味しいと、参加した皆さんもお土産に買っていました。紅葉もとてもきれいで、一番の見頃の時期に見物でき、これもラッキーでした。

最後はお待ちかねのビール工場です。工場内にはほとんど作業員がいなくて、製品のビールが次々と出来上がっていました。ビールの試飲では3種類のビールを飲み、ほろ酔い気分でバスに乗った人も多かったようです。

## NI-Youthがハロウィーンパーティーを開きました お菓子の家作りで密度の濃い交流

金井 勇樹（NI-Youth）

10月21日(土)、NI-Youthは実糀コミュニティホールでハロウィーンパーティーを開き、お菓子の家作りにチャレンジしました。全部で13人の参加者が集まり、そのうち外国人は全部で6人、国籍もウズベキスタン、台湾、韓国、アメリカなどでした。

デザインが得意な人が家の設計をし、接着剤を作る人、家を組み立てる人、崩れないためにどうすればいいか案を出す人と、メンバーそれぞれが自分の得意な分野に



設立30周年記念バーチャル座談会が実施されました  
『NI-Youth OB・OGが語る苦労、楽しさ、信頼』がNIAのホームページからご覧になれます

広報  
から

### ● メールマガジンに読者登録を

スクウェアの電子版「メール・スクウェア」を毎月1回、配信しています。無料です。  
配信停止も自由です。配信をご希望の方はPCメールアドレスniasquare@jcom.zaq.ne.jpまで。

### ● 原稿をお寄せください

イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。投稿は事務局またはniasquare@jcom.zaq.ne.jpへ。

### ● スクウェア編集部員を募集しています

一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。